

送り盆ににぎやかに ～瀬波盆踊り大会を開催～



(パートナー)のロゴマーク
市民協働のまちづくり

瀬波のお盆の風物詩となりました「瀬波盆踊り大会」が8月16日(火)夜、瀬波上町地内で行われました。

当日は晴れて日中は35度まで気温が上昇しましたが、夕方になると風も出てきて涼しくなり、暗くなるにつれて、多くの市民の方が訪れ、提灯で照らされた櫓の周りを、浴衣姿の踊り手ら50人以上が村上市民音頭や佐渡おけさ等の曲に合わせて踊りました。会場はにぎやかな中に優雅な雰囲気を漂わせていました。



この催しは「瀬波を考える会(石井秀逸会長)」が主催し毎年8月16日に行われているもので、同会では、瀬波小学校方面からと浜町方面からの両方向から望める場所にやぐらを設置するなど、様々な工夫をして住民の方に参加していただくための取り組みを行っており、最近では瀬波地区外からの参加も増え、地域交流が図られています。

「せなみ巡回バス」からお知らせ

瀬波大祭屋台 ミニ写真展開催



お盆明けから、「せなみ巡回バス」に5町内の瀬波大祭屋台の写真を展示します。

1日4便運行！この機会に、ぜひ「せなみ巡回バス」をご利用ください。

運行日

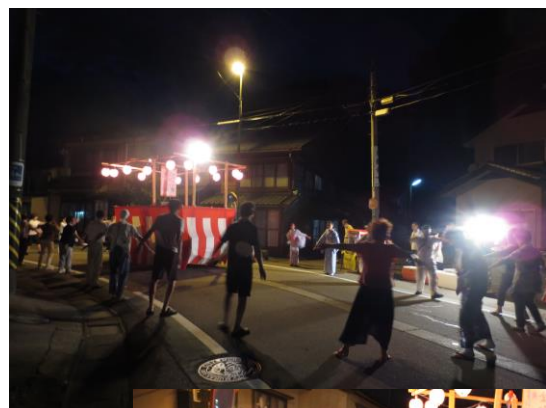
月曜日～土曜日

(日・祝・9/3～9/5・12/29～1/3運休)

運賃

1乗車：大人100円、小学生・障がい者50円

問い合わせ 村上市自治振興課公共交通係
TEL53-2111(内線333)



このコーナーでは、各町内（集落）支援助成金を活用して取組みが行われている事業を紹介します。今回は「地蔵様」です。

※まちづくり協議会への実績報告が完了した町内から紹介します。

※記事・写真は各区長さんからご提供いただいたものを掲載させていただいております。

【瀬波浜町】

●事業内容

町内の小・中学生が中心となり、毎年7月23日の地蔵様の日に、地域の地蔵尊周辺の清掃・整備を行い、参拝者に対応。町内の安全を祈願する。

●事業成果

子供世代が伝統行事を積極的に関わることで地域の一員としての意識を高めることができた。

●今後の方向性

本来、子供のための行事であり、子供達が主体的に活動するものだが、子供人口の減少に伴い、保護者への負担が増え、行事そのものが形骸化する傾向にある。伝統文化を正しく継承し、地域ぐるみで子供達を見守る為にも幅広い世代が関わる事業にしていかなければならない。



【瀬波上町】

伝統ある地蔵尊祭り、子供たちの自主性を育む良い機会である。中学生が小学生の面倒を見る事で、町内の輪が広がった。育成会、PTAも手伝いし、親子のふれあいを感じた。今後も伝統ある文化を続けていきたい。



【浜新田】

子供達がユリの花を取ってきて地蔵様の境内に飾る。お年寄りは夜籠りをする。古くから続いている行事なので今後も続けたい。



【瀬波中町】

●事業内容

この活動は公民館事業として、地蔵様活動実行委員及び小中学生により町内二カ所の地蔵様の御堂周辺の草刈り及び施設整備などを行った。小学生には町内の家庭を訪問してもらい、雑用銭の寄付をお願いに回った。開催当日(23日)は中学生が主体となり、籠り場の設置やお堂、提灯などの飾りつけを行った。夕暮れ時には供物をお供え、お灯明を燈し子供たちの健やかな成長を願い、江戸時代から続く地蔵様祭りが執り行われた。

●事業の成果

今年は、地蔵様祭りに小中学生が多く参加し、祭りの準備等を通して学生同志あるいはお参りに訪れた町内各世代の方々の人たちとの交流が図られた。小中学生が少し主体的に準備作業等を行い、この祭りの大きな本旨である子供たちが中心となって行う姿に一步近づいた印象を受けた。

●今後の方向性

現在は、公民館活動として大人が活動の計画段取りをして、当日に子供が参画するといった状況であるが、今後は、活動の計画段階から子供たちに参画してもらってこの活動を進めたいと考えている。



【下渡】

小学生2人を主役として、歴史ある地蔵様祭りを行った。集落のお年寄りがほとんど全員集まり、子供達の健康とすこやかな成長をお地蔵様に祈願した。全戸からダンゴと賽銭が上がり、お地蔵様の前は大変にぎやかとなった。

今後も何年か先に子供も増える見込みであり、今以上に盛大に地蔵様祭りを行い、区の将来発展のため、子供たちを大切にして祭りを続けていかなければならない。



事務局：村上市瀬波上町4番1号(青少年ホーム内) 担当：高橋(村上市自治振興課瀬波地域担当)

【TEL】53-2005 【FAX】53-5557(青少年ホーム兼用)

【URL】<http://www.senami-machikyo.net> 【メール】info@senami-machikyo.net